

情報整理シート

氏名			男・女	年齢（学年）	
主訴					
ジェノグラム（家族に関する情報もここに書き込む）					
被虐待 体験	☐ 身体的虐待 ☐ 心理的虐待 ☐ 性的虐待 ☐ ネグレクト	虐待詳細			
子どもの問題 行動			主な成育 歴		
家庭の様 子			学校・園 での様子		
医療	受診歴 有・無		その他関わっている関係機関		
児童本人のニーズ			養育者のニーズ		

アセスメント計画シート

現時点で想定される問題は何ですか？

☐発達の問題（知的障害・ASD・ADHD・LD） ☐愛着障害・不安定型愛着 ☐トラウマ ☐児童本人には問題なし
☐養育の問題（厳格・放任・過保護・経験不足） ☐限局的（特定の環境や関係の下でのみ生じる） ☐その他

これから調査が必要な項目は何ですか？それに対して何を行いますか？

児童本人のニーズを満たすために必要なことは何ですか？

養育者のニーズを満たすために必要なことは何ですか？

主訴を解消するために必要なことは何ですか？

担当者として、このケースで一番大事にしたいことは何ですか？

◇このシートは主に1～3年目の方を対象にしています。

◇アセスメントにおいては直接本人から得られる情報だけでなく、可能な限り、関係機関からも情報を集め、それらを基に多角的・総合的に分析することが求められます。しかし、最初の頃は全ての情報を網羅的に把握することが難しく、1つの情報に焦点を当てすぎてしまったり、どの情報が不足しているか気づかなかったりすることが起こりやすいものです。

◇そこで、まずは1枚目のシートを使い、現時点で得られている情報を書き込み、一覧表にして俯瞰してみましょう。そして、不足している情報から調査を開始しましょう。情報が揃ってきたら、得られた情報から考えられる仮説を立て、アセスメントのプランを考えていきましょう。このようなプロセスを踏むことで、仮説検証型アセスメントの力が身に付きます。

◇2枚目のシートでは、アセスメントを進めていくにあたってのポイントを絞ることができます。

◇相談機関の立場としては主訴を解消することが一番のゴールであり、そこに注意が向きがちですが、同時に児童本人や養育者のニーズにも目を向けることが大切です。また、あなた自身が大切にしたいと思っていることを忘れずに支援を組み立てていきましょう。